

日向市社会福祉協議会（宮崎県）

生活困窮者支援を通じた地域づくり ～地域福祉サポーターの育成と地域福祉活動企画 コンテスト



おせっ会

1. 基本情報

①自治体・団体名	日向市社会福祉協議会 日向市生活相談・支援センター心から（ここから）
②住所等	〒883-0034 宮崎県日向市大字富高 207-3 TEL：0982-52-2572 FAX：0982-52-9562 http://hyuga-shakyo.or.jp/
③圏域の人口、高齢化率	人口：61,098人 高齢化率：30.9%
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業（受託） 子どもの学習支援事業（受託）
⑤主な事業・活動（④以外）	・日向市生活相談・支援センター心から ・居場所・サロン事業 ・食糧支援事業（フードバンク） ・巡回心配ごと相談事業 ・日常生活自立支援事業 ・生活福祉資金貸付事業 ・たすけあい貸付資金事業 ・小地域福祉活動推進事業 ・日向市福祉施設等連絡会 ・日向市地域福祉コーディネーター連絡会 ・介護保険サービス、障がい福祉サービス 等

2. 取り組みの経緯・背景

- ・日向市社協では、社協がめざす将来像として「社協ビジョン」を策定しており、平成30年～32年の社協ビジョンでは、「一人ひとりが主人公、一人ひとりがサポーター」をテーマに掲げ、「個を地域で支える援助」「個を支える地域をつくる援助」「地域福祉の基盤づくり」に取り組んでいる。
- ・宮崎県社協において社協や福祉施設の職員を対象とした「地域福祉コーディネーター研修」を開催しており、日向市社協では、市内の研修修了者のネットワークを作ろうと、「地域福祉コーディネーター連絡会」（通称：おせっ会）を平成25年に設置した。連絡会は、研修会での学びを実践に活かし、関係者が連携しながら地域の福祉力を高める活動を推進することを目的としている。

3. 取り組み概要・実施体制

①地域福祉サポーター・リーダー養成講座の開催

- ・地域福祉活動を推進する“人財育成”と組織化をねらいとして、地域住民を対象とした「地域福祉サポーター・リーダー養成講座」を開催。講座の企画や講師には「地域福祉コーディネーター連絡会」が協力している。
- ・講座の修了者が参加して、住民主体の地域福祉活動を推進することを目的に「地域福祉サポーター連絡会」（通称：がむしゃら応援団）を結成した。メンバーは主婦や学生、会社員、農業従事者、医療機関職員など多様。
- ・地域福祉サポーター等が参加する「地域福祉活動企画コンテスト」を開催し、最も投票の多かった企画を実際に行う取り組みを行っている。その企画に投票した人は実施にも協力するルールとなっている。

②地域生活支援会議

- ・地域住民を主体とした地域福祉活動を推進するために日常生活圏域に協議体を設置している。住民や生活支援コーディネーター等が集い、地域の困りごとを共有し、必要な生活支援サービスなどを作り出す仕組みとなっている。

③ふくし食堂の実施

- ・生活相談・支援センターが支援していた困窮世帯で、子どもたちが十分に食事をとれていない状況があったことから、地域で支援する実践として相談支援員ががむしゃら応援団の地域福祉活動企画としてあがっていた「ふくし食堂」の実施を提案した。
- ・実施にあたっては、地域福祉サポーターだけではなく地域の事業所や商店などの協力も得ることができ、事業を通して地域の住民同士の新たなネットワークづくりにつながった。
- ・ふくし食堂で交流が図られたことで地域の困窮世帯への理解がすすみ、住民がその世帯の子どもたちを気にかけて登下校時の様子などを見守ってくれるようになった。

4. 成果や課題、今後の展開

①効果

- ・地域福祉サポーターによる地域生活支援の実践
- ・多機関・多職種による生活支援
- ・ネットワークから新たなネットワークを構築（個人ネットワークが新たなネットワークを構築）
- ・地域住民同士が気かけ合う意識の醸成
- ・新たな地域資源開発

②課題

- ・コーディネート機能の充実・強化
- ・モチベーション維持・向上
- ・専門職、専門分野、行政での「我が事・丸ごと」の意識
- ・個別課題を通して地域課題を知る